

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 観光課
 担当名: インバウンド担当
 内線: 3957

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P58	インバウンド誘致の推進事業		一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費	
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠法令	観光立国推進基本法第4条		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 8
					分野施策	0802	地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsターゲット 8-9
1 事業概要 「東京からの近さ」を活かしたインバウンド誘致を進めるため、「埼玉観光サポートデスク」の運営や、有力コンテンツに対する、目的を明確にしたFAMツアーやデジタルを活用したアプローチなどを通じた効果的な誘客プロモーションを実施することで、外国人観光客数や消費額の増加に繋げる。 ア 受入体制整備事業 △300千円 イ インバウンドプロモーション事業 △890千円 ウ 訪日教育旅行受入促進事業 △500千円 エ 地域と連携したコンテンツプロモーション事業			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 受入体制整備事業 58,732千円 イ インバウンドプロモーション事業 65,253千円 ウ 訪日教育旅行受入促進事業 1,459千円 エ 地域と連携したコンテンツプロモーション事業 28,400千円 (2) 事業計画 ア 受入体制整備事業 埼玉観光サポートデスクの運営やおもてなし通訳案内士の育成を実施 イ インバウンドプロモーション事業 有力コンテンツに対するFAMツアー、デジタルを活用したアプローチ、広域連携等によりインバウンドプロモーションを実施 ウ 訪日教育旅行受入促進事業 台湾の教育機関へのプロモーションと学校交流校のマッチングを実施 エ 地域と連携したコンテンツプロモーション事業 (ア) 米国PR会社を通じた雑誌掲載 (イ) 台湾旅行会社向けツアー造成アプローチ (3) 事業効果 インバウンド客数と観光消費額の増加による地域経済の活性化 【活動成果(アウトプット)】米国ライブウェビナー(2回)、米国メディア招請FAM、懇談会(1回)、台湾旅行会社招請FAM、商談会(2回)・台湾メディア等招請FAM(4回)、訪日教育旅行FAM(1回)ほか 【成果指標(アウトカム)】雑誌・WEB記事掲載(10回)→有力雑誌掲載(1回)、米国人観光客数の増2.1万人(令和5年:6.4万人→令和9年:8.5万人)、台湾人観光客数の増3.0万人(令和5年:18.9万人→令和7年:21.9万人)、旅行商品造成数(20件)→送客数(令和7年:2,000人)、台湾メディア記事掲載(12回)、インフルエンサー発信(20回)、埼玉への来校数(15校) (4) 補正予算の概要 ア～ウ 事業費の節減による減額、ウ 参加県増加による負担額減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)、(県10/10)事業者0								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(款)商工行政費 (細目)観光及び物産振興費(細節)観光及び物産振興費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.8人=45,600千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,690						△1,690	153,844
現計額	155,534						155,534	

事業内訳書

事業名	インバウンド誘致の推進事業		
単位事業名	受入体制整備事業	予算額	△ 300千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△300	—	
合計	△300	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△140	—	事務費の節減による減額
役務費	△100	—	事務費の節減による減額
使用料及び賃借料	△60	—	事務費の節減による減額
合計	△300	—	

単位事業名	インバウンドプロモーション事業	予算額	△ 890千円
-------	-----------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△890	—	
合計	△890	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△360	—	事務費の節減による減額
需用費	△530	—	事務費の節減による減額
合計	△890	—	

単位事業名	訪日教育旅行受入促進事業	予算額	△ 500千円
-------	--------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△500	—	
合計	△500	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△250	—	事務費の節減による減額
役務費	△50	—	事務費の節減による減額
負担金、補助及び交付金	△200	—	参加県増加による負担額減額
合計	△500	—	